

議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年4月20日 19時00分 ～ 20時00分															
開催場所	府中公民館															
出席議員	(班長) 脇 芳美 (司会) 脇 芳美 (記録) 植原 泰 (副議長) 村井孝彦 (班員) 鳥飼年幸, 斉藤義明, 植條敬介, 大前寛乗															
参加市民数	15人 (男性14人, 女性1人)															
実施内容	<p>議会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 脇 芳美 ・出席議員自己紹介 ・委員会報告 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算概要</td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 30%;">鳥飼年幸</td> </tr> <tr> <td>総務消防委員会</td> <td></td> <td>大前寛乗</td> </tr> <tr> <td>教育民生委員会</td> <td></td> <td>植條敬介</td> </tr> <tr> <td>市民建設委員会</td> <td></td> <td>斉藤義明</td> </tr> <tr> <td>議会改革のあゆみ</td> <td></td> <td>村井孝彦</td> </tr> </table> ・質疑応答 ・意見交換会 ・閉会挨拶 脇 芳美 	予算概要		鳥飼年幸	総務消防委員会		大前寛乗	教育民生委員会		植條敬介	市民建設委員会		斉藤義明	議会改革のあゆみ		村井孝彦
	予算概要		鳥飼年幸													
総務消防委員会		大前寛乗														
教育民生委員会		植條敬介														
市民建設委員会		斉藤義明														
議会改革のあゆみ		村井孝彦														
質疑応答	<p>〈質疑〉 市の新庁舎が旧庁舎に比べて1.7倍になった理由や機能について。</p> <p>〈回答〉 完成予想図を見ていただくとわかるように空間が多く取られているのと、現在3階建てなのが4階建てになる事など総合で1.7倍になった。</p> <p>〈回答〉 事前の市民も入ってもらった新庁舎建設の検討委員会でまとめられた3つの基本方針, 1. 安全安心の確保 (高い防災性能・安心して利用できる施設, 災害時に対策本部としての機能を果たせる施設) 2. 市民サービス機能の充実 (誰もが利用しやすく, 人にやさしい施設, 住民との協働, 連携が図れ, 広く親しまれる施設) 3. 経済性と環境への配慮 (華美な設計を排し設計費の抑制に努め, 省エネに配慮し, 経済的で環境にやさしい施設, 社会環境の変化に迅速かつ柔軟に対応できる施設) に基づいて, 例えば1階のフロアにしても今の市役所は空間がないが, ご覧のように広く取って市民が利用しやすく, 防災面でも補強された施設になっていく。結果として1.7倍になったが, 市民がゆったり利用できる施設になったということ。</p> <p>〈回答〉 防災本部が新庁舎内に設置できる。それが最も大きなサービス。</p>															

〈質疑〉 議会のスペースはどうなっているのか。

〈回答〉 控室は小分けになっている部屋を1つにまとめたのでそれほど広がってはいないが、本会議場は若干広がっている程度。大きなところは災害時に市民の方が避難してきても1階のスペースで避難できるようにしたところや、ユニバーサルデザインにすることで段差をなくしたために広がったり、備蓄倉庫としての場所を確保したところが広がった原因だと思う。

〈質疑〉 旧東部有線事務所を整備する防災倉庫はどここの地区の備蓄になるのか。今現在各地区に分散してあるものをまとめるのか、それとも分散しているものとは別に備蓄するのか。また、ある程度の震度に耐えるとなっているが、震度いくりに耐えられるのか。

〈回答〉 坂出市の地域防災計画の中で27か所に備蓄がある。それ以外に県の方の被害想定に基づいて備蓄する計画があって、それは全体を網羅するもので、主な品目としてはアルファ米や水、米、おむつや粉ミルク等の日用品であるが、自助・共助・公助の観点から各自での備蓄や地域での備蓄を進めてもらうようお願いしているが、それ以外に公助という観点からの備蓄になっている。

どれぐらいの震度に耐えられるかについて、おそらく専門家に依頼して測ってはいないと思うので、数値的にははっきりしていない。

〈質疑〉 議会改革の点で質問者、答弁者が一回一回壇上に上がって短いフレーズでも答弁するのは時間をもったいないと考えるが。

〈回答〉 確かに答弁者が着席するのを待って次の弁者を指名するという議会の秩序に基づいてやっているが、今後一問一答が定着していく上では今言われたように時間の効率を考えた方法に変えていかないといけないとは考えられる。ただ、設備の問題もあるので、新庁舎になった折には、変わっていくのではと思う。

〈回答〉 KBNに放送してもらっているが、そのカメラ撮りの問題もあるし、1番は設備の問題でして、新庁舎では質問者の席にマイクが置かれるし、市側の各席にもマイクを置くので、そこで答弁してもらえるようになるので時間のロスは少なくなると思う。

〈質疑〉 幼稚園給食のことで、給食費の個人負担はどうなるのか。

〈回答〉 食材費を負担してもらうことになると思う。ガス代や油代等は市側の負担となり、純然たる材料費を負担いただくことになると思う。

〈回答〉 具体的な金額については今後検討していく事になると思う。

意見交換

〈質疑〉 9月の議会で長柄ダム再開発事業の促進に関する意見書が可決されたが、長柄ダムのかさ上げをして治水機能を上げると府中ダムよりかなり大きいものとなるが、今までのようにゲートで放流を調整するのではなく超えたものは自然放流になるようである。職員もいなくなる。そうなるとう府中湖に流れ込む量が増えてくることになるのに、それに対する府中湖の安全対策が何も謳われてない。それを中讃土木事務所を通じて河川課へ出しても取り上げてもらえない。今の府中ダムは県営水道が取水するための施設であったが、防災設備等を目的にしていない。水道局は必要な量を取って余れば放流するだけの組織で、普通のダムは大雨が予想されれば事前に放流して調整するが、長柄ダムは工業用水等の治水専用ダムなのでそれができない。入ってきただけ流す、上流の流れが変わると下流は困る。平成16年の台風23号でそのことがどれだけ危険なのかは体験済みなので、長柄ダムの再開発事業の促進が通ったら市から府中ダムの安全安心に対する申請をしてもらいたい。細かいデータは地元の協議会でやっているのだから、その取り組みをヒアリング等で聞いてもらって今後の展望を考えてもらいたい。県へ上げてもらいたい。

〈回答〉 持ち帰って十分に検討してもらって報告させていただく。

〈回答〉 我々が知らないそうした意見は出していただけると非常にありがたいことなのでしっかり議論していきたい。